

【NEWS RELEASE】

2023年9月28日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

資産運用ビジネス強化を通じた社会的価値の創造について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：太田 純、以下、当社グループを総称して「SMBC グループ」）は、資産運用ビジネスの強化を通じた日本の金融市場の活性化による社会的価値の創造に貢献してまいります。

SMBC グループは、「社会的価値の創造」を経営の柱の一つに据え、社会課題の解決を主導していくことにより、経済の成長とともに社会課題が解決に向かい、そこに生きる人々が幸福を感じられる「幸せな成長」を目指しています。こうした中、SMBC グループは、強みである運用力を活かして、「貯蓄から投資へ」の推進、日本全体の金融リテラシーの向上、ひいては国際金融市場における日本の地位向上を目指してまいります。

わが国では、政府が掲げる「資産所得倍増プラン」のもと、家計の金融資産を「貯蓄から投資へ」シフトさせるための様々な施策が打ち出されています。

これらの施策は、家計の金融資産のうち半分以上を占めている現預金を投資へとシフトさせることで、企業の成長投資の原資を円滑に供給し、それが持続的な企業価値向上に繋がり、結果として家計の金融資産所得が増えていく、という「成長と資産所得の好循環」の実現を狙っています。

これまで SMBC グループは、様々な事業を通じて日本における金融経済の発展に貢献してまいりましたが、さらなる発展に向けては、SMBC グループのみならず、本邦金融業界全体の地位底上げ、また、国際金融市場における日本の地位向上が不可欠だと考えています。

かかる中、SMBC グループの中核運用会社である三井住友 DS アセットマネジメント（代表取締役社長兼 CEO：猿田 隆、以下、「三井住友 DS」）では、強みのある国内資産の他、外国資産やオルタナティブ資産等の運用力強化を図ってまいりましたが、今般これらの運用に加え、債券・株式・為替等を運用対象とする絶対リターン型のグローバルマクロ運用を開始することといたしました。これに伴い、三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕、以下「三井住友銀行」）における経験豊富な運用者の一部が三井住友 DS に移籍し、三井住友 DS の運用者とともに新たな運用チーム（以下「当チーム」）を立ち上げております。当チームでは、三井住友銀行が有する高度な運用ノウハウと、三井住友 DS が培ってきた運用基盤を活かした運用を行います。

上記の取組等を通し、資産運用ビジネスの世界において SMBC グループを中心としたエコシステムを形成し、「運用と言えば SMBC グループ」とグローバルに広く認知される存在を目指してまいります。その中で三井住友 DS は、フィデューシャリー・デューティーに則った企業経営と投資活動を継続いたします。

将来的には、投資家に対する優良な投資機会提供により「貯蓄から投資へ」という流れを推進・加速し、投資家の金融資産を増強していくのみならず、日本全体の金融リテラシー向上を強力に後押しし、国際金融市場において重要な「投資家」「金融市場」「金融機関」という 3 つの機能について、グローバルでも有数な水準にまで引き上げてまいります。

以 上